



YAKUSHIN開発株式会社

YAKUSHIN

人と地域と環境の調和する未来のために

For a future in harmony.

躍進開発

新規事業開拓
新規事業開拓
新規事業開拓
新規事業開拓

■基本理念

当社は、産業廃棄物中間処理の業務を通じてお客様に信頼を得られる企業を目指して事業活動を開いています。

地域環境の保全を果たすことが、企業として必須の条件であることを認識し、環境美化・環境保全に積極的に貢献することを基本理念とし、社員一人一人が環境保全に取り組み、地域社会、顧客との相互信頼に基づいた環境活動を目指します。

■事業概要

所 在 地 本社 〒807-1145 北九州市八幡西区楠橋西2-13-8
リサイクルセンター 〒807-1262 北九州市八幡西区野面168-1

設 立 平成5年5月6日

資 本 金 1,000万円

従 業 員 数 22名

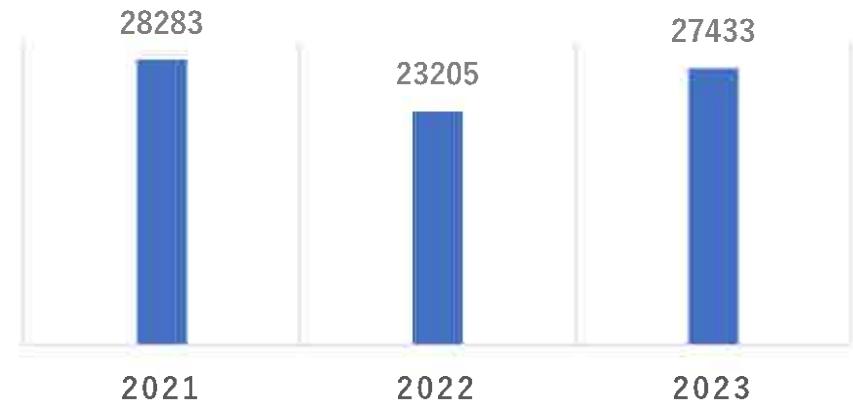
売 上 高 979 百万円

主な取引先 アマゾンジャパン(合)、(株)安藤・ハザマ、(株)大林組、(株)九電工、(株)鴻池組、五洋建設(株)、山九(株)、(株)山九ロードエンジニアリング、(株)サンコービルド、住友不動産(株)、セキスイハイム九州(株)、(株)積水ハウス、セキスイファミエス九州(株)、(株)錢高組、大成建設(株)、太平電業(株)、大和ハウス工業(株)、(株)竹中工務店、トヨタホーム九州(株)、日鉄エンジニアリング(株)、日本国土開発(株)、日立ビルシステム(株)、福屋建設(株)、松井建設(株)、(株)松村組
※五十音順

■処理実績



直近3年産業廃棄物取扱受託量 (t)



管理型混合廃棄物三ヵ年取扱受託量 (t)



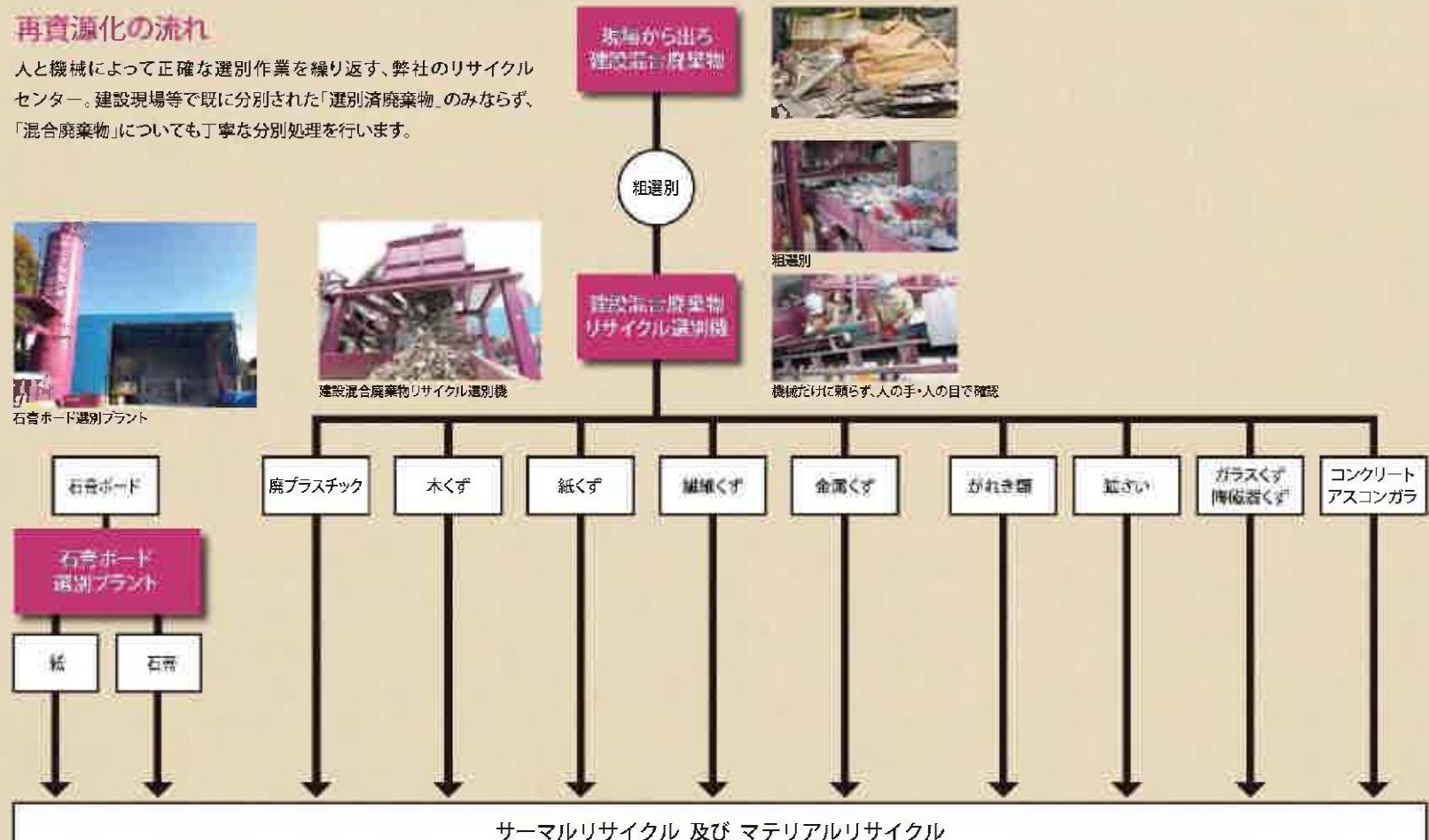
管理型混合廃棄物を分級選別し、再生砂、再生碎石を生産し埋立処分の延命化に努めています。
また吸引された軽量物はセメント工場の燃料としてサーマルリサイクルしています。
近年はお客様の環境意識向上で管理型混合廃棄物の排出も減少しています。

■処理フロー

自社内のリサイクルセンターには、独創性のある様々な選別機械を設置。人の目と手による選別、そして独自の技術で、質の高いリサイクル製品を作りあげます。

再資源化の流れ

人と機械によって正確な選別作業を繰り返す、弊社のリサイクルセンター。建設現場等で既に分別された「選別済廃棄物」のみならず、「混合廃棄物」についても丁寧な分別処理を行います。



※リサイクルが出来ない廃棄物は最終処分場へ行きます。



■地域貢献への取り組み①

工場見学

ヤクシン開発では**実際の現場でSDGsを学べる工場見学**を積極的に受け入れています。

日頃、現場で廃棄しているゴミがどのように回収され、どのように処理されているか、処理工程やリサイクルされる流れを実際に見て触れて学べます。



■地域貢献への取り組み②

清掃活動

ヤクシン開発では、仕事に対する責任感と、地域環境への貢献のため、**全従業員で自社周辺のごみ拾いや草刈りを主とした清掃活動や海岸清掃**に取り組んでおります。

この活動によって、**周辺地域への社会貢献および共生**をはかるとともに、参加した**社員相互のコミュニケーション**が深まる場にもなっています。



■地域貢献への取り組み③

子ども食堂へ応援寄付

「社会の一員として皆さまのお役に立ちたい」という想いから、子どもたちの笑顔を守るために、食育活動や子どもの貧困対策に取り組む**子ども食堂に対して寄付活動**を行っています。



星ヶ丘地区こども食堂『くじら食堂』へ応援寄付をいただき
誠にありがとうございました。

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
このたびは、くじら食堂の運営にご協賛を賜り、誠にありがとうございました。
おかげさまで、地域の子どもたちに温かい食事を提供し、安心して集える場を提供
することができました。
皆様からのご支援は、子どもたちの健やかな成長を支える大きな力となっております。
これからも、子どもたちの笑顔のために尽力してまいりますので、引き続きご支援を
賜りますようお願い申し上げます。
末筆ながら、貴社ますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

敬具
令和6年8月吉日

くじら食堂代表 海崎 智史

